

はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC

イラスト:IKE/文:松井治伸

B

2026 SEPTEMBER
[第2070回]

ドイツ・オペラのパイオニア

カール・マリア・フォン・ウェーバー



人間と妖精の物語から
ロマンティックな歌劇を書いたウェーバー。
初演を成功させた数か月後にこの世を去った

ウェーバーは、子どものころ父親の劇団の巡業についてドイツ、オーストリアの各地を回り、作曲家になってからはプラハやドレスデンの歌劇場で指揮者としても活躍するなど、劇場と深く関わりました。オペラと言えば「イタリア語のオペラ」が主流だった時代に、ドイツ生まれのウェーバーはドイツ語による傑作オペラ《魔弾の射手》を残し、次の世代のワーグナーに大きな影響を与えています。《歌劇「オベロン」》はウェーバー最後の作品。〈序曲〉には劇中のメロディも登場します。重い病をおして自ら《オベロン》の初演を指揮したのち、彼は39歳の若さで亡くなっています。